

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】特開 2000-268805 (P2000-268805A)
 【公開日】平成 12 年 9 月 29 日 (2000.9.29)
 【出願番号】特願 平 11-67031
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 M 2/30

H 0 1 M 10/40

【 F I 】

H 0 1 M 2/30 A

H 0 1 M 10/40 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 9 月 30 日 (2004.9.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

ゲル電解質を用いたゲル電解質電池 10 は、例えば図 6 に示すように、電極巻回体が外装フィルム 11 中に密閉されてなる。この電極巻回体は、帯状の正極 12 と、正極 12 と対向して配された帯状の負極 13 と、正極 12 と負極 13 との間に配されたゲル電解質層 14 とを備える。そして、正極 12 と負極 13 とはゲル電解質層 14 を介して積層され、さらに長手方向に多数回巻回されて電極巻回体とされる。また、正極 12 には図示しない正極リードが、負極 13 には負極リード 15 がそれぞれ接続されている。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 7】

そのため、正極リード 7 を正極集電体 2b の端部からずらす量 l_1 の上限としては、正極集電体 2b の幅の 80% 程度と考えられる。具体的は、 l_1 は例えば 1 mm 程度とするのが適当である。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 8】

最後に、この電極巻回体 5 を、絶縁材料からなる外装フィルム 6 で挟み、正極リード 7 及び負極リード 8 と外装フィルム 6 とが重なる部分に樹脂フィルム 9 を配する。そして、外装フィルム 6 の外周縁部を封口し、正極リード 7 と負極リード 8 とを外装フィルム 6 の封口部に挟み込むとともに電極巻回体 5 を外装フィルム 6 中に密閉することによりゲル電解質電池 1 が完成する。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】符号の説明

【補正方法】変更

【補正の内容】

【符号の説明】

1 ゲル電解質電池、 2 正極、 3 負極、 4 ゲル電解質層、 5 電極巻回体、 6 外装フィルム、 7 正極リード、 8 負極リード、 9 樹脂フィルム、 10 ゲル電解質電池、 11 外装フィルム、 12 正極、 13 負極、 14 ゲル電解質層、 15 負極リード